

成果の説明書

(氏名) 佐藤 徹	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 A. 教育 (1) 政策科学（前期） 政策科学の登場と歴史的背景、政策分析の手法に加え、できるかぎり具体的なテーマや事例を数多く取り上げ、政策科学の意義と本質について受講生自身が考えるように工夫した。 (2) 行政学（前期） 行政学の基礎理論を修得するとともに、現実の行政にも関心が持てるように講じた。オンライン授業でも受講生がすすんで発言しやすい環境づくりにつとめ、双方向型の授業となるように工夫した。 (3) 基礎演習（後期） ゼミ生全員で地方自治や行政学に関する基本書をもとに、基礎的知識の修得をめざした。単なる輪読ではなく、ワールド・カフェ方式によるグループ討論をおこなった。また、ゼミ生どうしの親睦や交流を深めることに努めた。 (4) 政策評価論（後期） 政策評価に関する基礎理論について講じるとともに、政府および自治体における政策評価の最新動向や具体例を取り上げながら、受講生が政策を評価する際の視角や能力を養えるように努めた。 (5) 演習Ⅰ（通年） ゼミ生たちが議論を通じて共通の研究テーマを探索・検討するとともに、関連文献・資料の調査を行い、収集した情報の整理分析に取り組めるよう指導した。EBPM（エビデンスに基づく政策立案）の先進自治体の一つである前橋市へのヒアリング調査をオンラインで行い、学生たちがEBPMへの理解を深められるようにした。 (6) 演習Ⅱ（通年）・卒論指導 ゼミ生が先行研究の検討整理や自治体へのインタビュー調査等を行ったり、アンケート調査結果をもとに統計分析を行ったりして、各人のテーマに沿った質の高い卒業論文が執筆できるよう指導した。 (7) 政策評価特論（大学院） 政策評価に関する理論と実際についてバランスよく講じるとともに、受講生の理解がさらに深まるよう、議論を重視した授業を展開した。 (8) 政策評価特論演習（大学院） 学術論文の執筆方法について講じた上で、先行文献の読解、リサーチクエスション及び仮説の設定、質問紙調査の設計等について指導した。 B. 研究 (1) 著書・論文等 ・ 佐藤徹編『エビデンスに基づく自治体政策入門ーロジックモデルの作り方・活かし方ー』公職研、2021年2月 ・ 佐藤徹「第6章 無作為抽出方式による市民討議会の討議の実態を探る」、村田和代編『シリーズ話し合い学をつくる3 これからの話し合いを考えよう』ひつじ書房、pp.133-153、2020年12月 ・ 佐藤徹「ウィズコロナ時代の政策立案」（特集：連携と共生ーウィズコロナ時	

代の地域経営)『月刊ガバナンス』No.232, 2020 年 8 月号、pp.26-28

- ・ 佐藤徹・若林隆大「SDGs 未来都市計画における 2030 年のあるべき姿の実現に向けた優先的なターゲットの分析」『地域政策研究』第 23 巻第 4 号、pp.1-17、2021 年 3 月
- ・ 佐藤徹「施策評価が行政を変えるー事業思考から施策思考への転換」『季刊 評価クォーターリー』第 56 号、2021 年 1 月号、pp.23-36、行政管理研究センター
- ・ 佐藤徹「自治体政策経営研究会」『季刊 自治体法務研究』No.64、2021 年 2 月、pp.103-107、一般財団法人 地方自治研究機構、ぎょうせい
- ・ 佐藤徹、書評：南島和久『政策評価の行政学ー制度運用の理論と分析』(晃洋書房)、『図書新聞』3478 号、2021 年 1 月
- ・ 佐藤徹、書評：西出順郎『政策はなぜ検証できないのかー政策評価制度の研究』(勁草書房)、『自治体学』34(1)、2020 年 12 月

(2) 研究奨励費による研究

- ・ 基礎自治体における政策手段の分類体系に関する理論的・実証的研究を推進した。

(3) 学会活動

- ・ 日本行政学会の年報委員会委員、日本評価学会の理事、各種学会の論文査読などを多数おこなった。
- ・ 日本地域政策学会のプロジェクト研究『地域を変える話し合いについての多層的研究』を推進した。

C. 社会貢献

(1) 公職

- ・ 総務省：統計データ利活用の実践に係る組織体制等に関する調査研究検討会委員 (2020 年 10 月~2021 年 3 月)
- ・ 群馬県：行政改革評価・推進委員会委員長 (2010 年 9 月~現在)
- ・ 千葉県：総合計画の政策評価に関する有識者懇談会委員 (2010 年 4 月~現在)
- ・ 岩手県北上市：政策評価委員会副委員長 (行政評価検証専門部会長) (2011 年 8 月~現在)
- ・ 埼玉県戸田市：外部評価委員会委員長 (2011 年 9 月~現在)
- ・ 埼玉県戸田市：保養所再編方針検討委員会委員長 (2020 年 7 月~2021 年 3 月)
- ・ 埼玉県桶川市：協働審議会会長 (2011 年 9 月~現在)
- ・ 埼玉県上尾市：地域創生総合戦略審議会会長 (2015 年 9 月~現在)
- ・ 埼玉県上尾市：上平地区複合施設検討委員会委員長 (2019 年 7 月~2021 年 3 月)

(2) 講演等

- ・ 2021 年 3 月 7 日、「自治体評価の現状と課題」第 27 期評価士養成講座、日本評価学会主催
- ・ 2021 年 2 月 25 日、「政策評価のための目標設定の考え方とその手法」、総務省主催 (政策評価に関する統一研修)
- ・ 2021 年 2 月 19 日、「政策評価ロジックモデルワークショップ」、岩手県北上市主催
- ・ 2020 年 12 月 17 日・18 日「政策評価演習」岐阜県職員研修所主催
- ・ 2020 年 9 月 25 日、「目標達成を描く！ 適切な指標の見つけ方・設定の仕方」、鹿児島市まちづくりセミナー

- ・ 2020 年 9 月 24 日、「政策評価ロジックモデル研修」岩手県北上市主催
- ・ 2020 年 9 月 10 日、「持続可能な自治体経営のためのヒントー事業の優先順位をいかにつけるか」、第 4 回市町村事例共有会、主催：一般社団法人 ふくしま連携復興センター、協力：復興庁福島復興局、オンライン開催
- ・ 2020 年 8 月 25 日、「公務員の人材確保・人材育成のありかた及びやりがいのある職務とは」、人事院主催、公務員問題懇話会

D. 学内業務

- ・ 情報基盤センター長をはじめとして各種業務を積極的に推進した。

2 その他の事項

- ・ 2020 年 10 月 10 日、第 5 回公務員志望者のためのレクチャーミーティングを開催した。コロナ禍のため、Zoom によるオンライン開催とした。現職の自治体職員 3 名を講師として招聘し、「定期的に部署が変わることの苦勞」「地域の人とのつながり」「女性のキャリア形成」「コロナ禍の対応」について講話をいただき、参加した学生たちと質疑応答をおこなった。
- ・ 第 12 回自治体政策経営研究会をオンラインにて開催し、コーディネータをつとめた。今回のテーマは「エビデンスに基づく自治体政策」であり、全国各地から自治体職員約 90 名が参集し、活発な議論が行われた。

3 次年度以降の計画・抱負

実証研究に必要な各種データを収集・蓄積することができたので、論文執筆に向けて精力的に取り組みたい。また、学部及び大学院における教育指導に、より一層、注力したい。